

令和3年度 学校安全総合支援事業 全国成果発表会

ARを活用した実践的防災訓練 — 学校安全推進体制の構築の一事例 —



かながわキンタロウ
Kanagawa Prefectural Government

神奈川県教育委員会教育局指導部保健体育課



発表内容

災害特徴

- ・ 神奈川県 of 災害について

取組

- ・ 神奈川県 of 防災教育の取組み
- ・ 学校安全総合支援事業の取組
- ・ 県立西湘高校の取組

成果・展望

- ・ 防災教育の成果
- ・ 今後の展望

神奈川県における災害の特徴



丹沢

土砂災害



箱根

火山



Kanagawa Prefectural Governr

江の島

津波

土砂
災害

横浜
(みなとみらい)

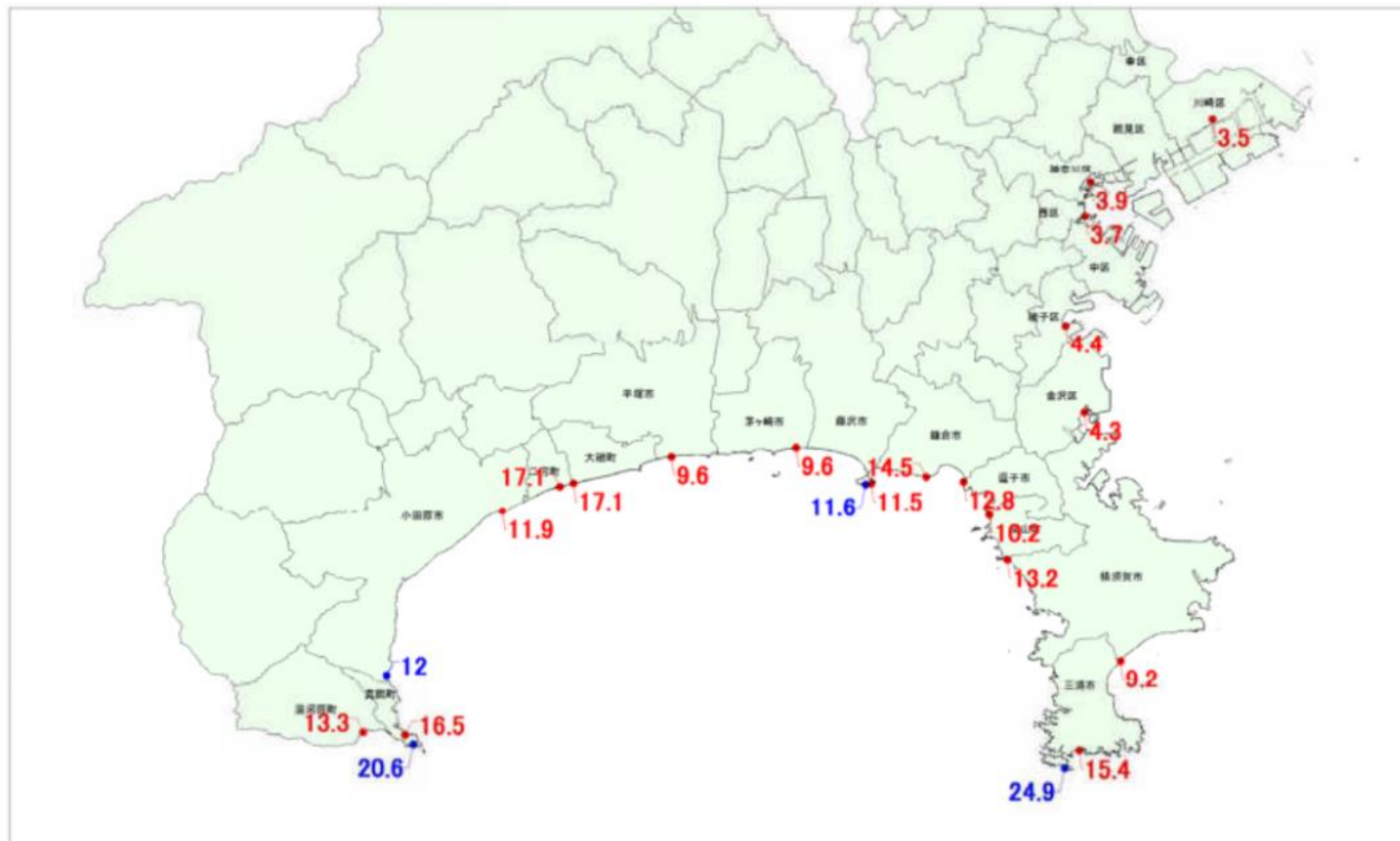


津波



最大津波の高さ（想定）

図8 市区町別の最大津波高さ発生箇所 赤字：海岸保全区域、港湾区域、漁港区域の場合 青字：がけ地等を含む場合（地震名は表1参照）



神奈川県における防災教育に係る取組

実践的防災教育推進事業

- ・ DIG（災害図上訓練）の普及推進
- ・ 宿泊防災訓練の実施
- ・ 防災研修
- ・ AR技術を活用した防災教育

学校安全総合支援事業

- ・ 2つの地域を指定し、拠点校を中心とした取組

神奈川県和学校安全総合支援事業の取組

目標

- ・ 県内全ての学校に学校安全の中核を担う教員を位置付け、学校安全の取組を推進する

内容

- ・ 地域と学校の連携体制の構築の方法
- ・ 継続的な取組を行っている中核教員の実践

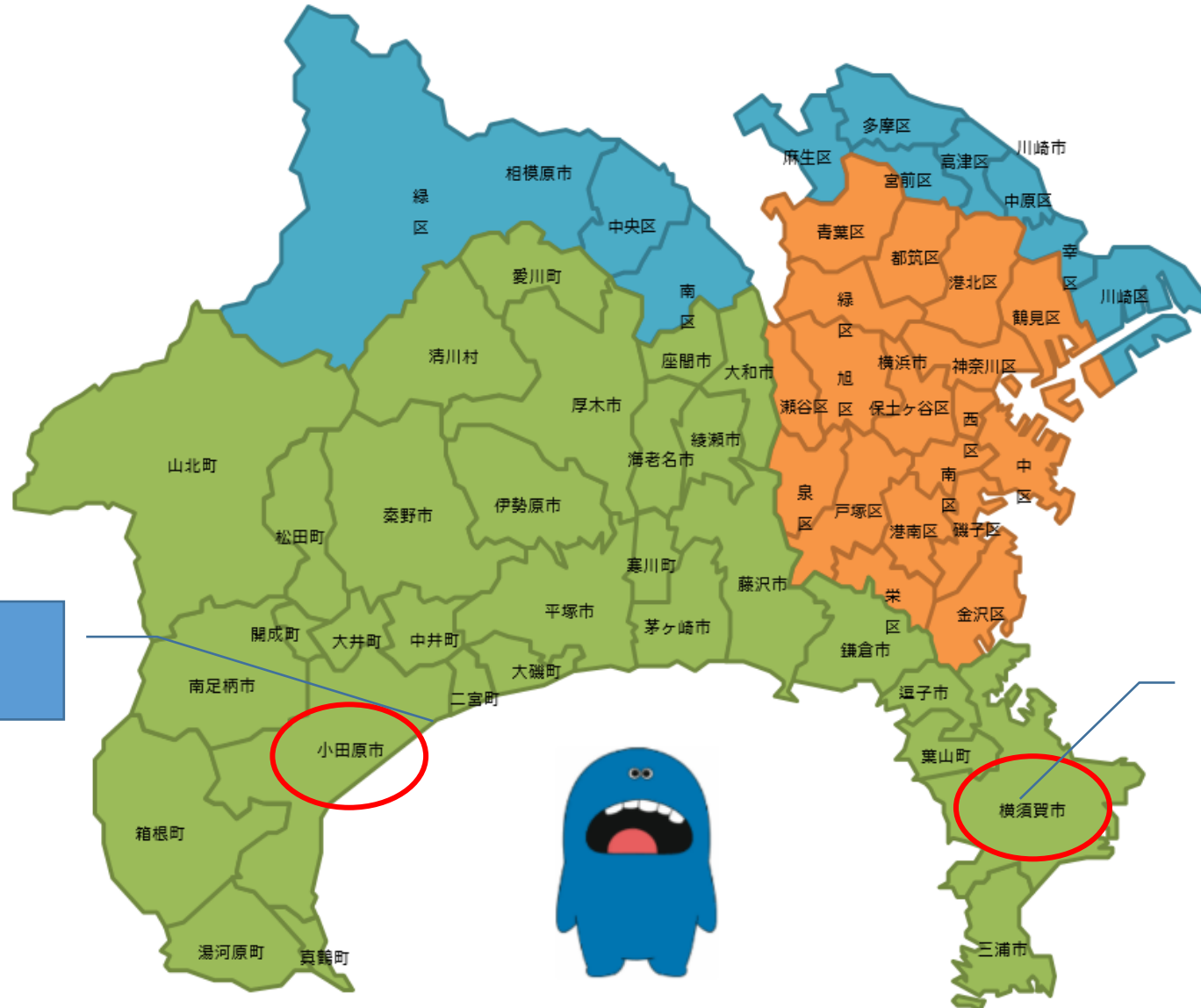
方法

- ・ 防災教育研修講座で県立学校の取組を、県内全ての地域に周知し、普及を図る

神奈川県为学校安全総合支援事業の取組



県立西湘高校



県立横須賀工業高校

県立西湘高校の防災教育

総合防災
センター視察

シェイク
アウト訓練
防災講話

生徒参画型
実践的
防災訓練



Kanagawa Prefectural Government



年度	対象	内容	参考
令和2年度	全校生徒	シェイクアウト訓練・防災講話	【講師】 小田原市防災部防災対策課地域防災係
	1学年	実践的防災訓練 ①人命救助システムの構成品の展示・説明 ②衛生救護者及び応急担架の展示・説明 ③宿営用天幕の展示・説明 ④野外炊事車の展示・説明 ⑤DIG訓練 ⑥AR訓練	【講師】 ①～④ 陸上自衛隊駒門駐屯地大1高射特科大隊 ⑤SL災害ボランティアネットワーク ⑥神奈川歯科大学 板宮教授
	2学年	防災講話 (オンライン)	【講師】 閑上の記憶 語り部 丹野 裕子 氏
令和3年度	全校生徒	シェイクアウト訓練	
	1学年	実践的防災訓練 ①DIG訓練 ②AR訓練 ③BLS訓練・消火訓練	【講師】 ①SLボランティア災害ネットワーク ②神奈川歯科大学 板宮教授 ③国士館大学助教
	防災委員	総合防災センター視察	

県立西湘高校の防災教育

シェイクアウト訓練
防災講話

「防災意識の向上」と「安全確保
の訓練」

【内容】

- 地域性から見た防災講話
- 経験者による防災講話
- 安全確保行動を約1分間取る。

【ねらい】

地震発生時の防災意識向上と安全確保の行動を身に付ける。



災害に対する準備の大切さや、災害発生時の行動を学ぶことを通じて、生徒の防災意識を育成する。

西湘高校周辺に絞り、地震と津波の発生原理やその発生規模・可能性について講話をいただいた。



県立西湘高校の防災教育

生徒参画型実践的防災訓練

「自己の生命を守る訓練」と「自己の役割を果たす意識向上の育成」

【内容】

○人命救助システム、宿営用天幕、衛生救護車及び応急担架、野外炊事車の展示

○DIG訓練、AR訓練、BLS訓練

【ねらい】

自己の生命を守り、自己の役割を果たす行動を実際に動けるようになるため。



【宿営用天幕の展示】



【消火訓練】



【DIG訓練】



【BLS訓練】

県立西湘高校の防災教育

生徒参画型実践的防災訓練

「自己の生命を守る訓練」と「自己の役割を果たす意識向上の育成」

【内容】

- 人命救助システム、宿営用天幕、衛生救護車及び応急担架、野外炊事車の展示
- DIG訓練 ○AR訓練

【ねらい】

自己の生命を守り、自己の役割を果たすために、実際に動けるようにするため。



【津波を想定したAR】



【火災避難時の視界を体験】

県立西湘高校の防災教育



BLS訓練・消火訓練

- ・消火器を噴射する時は一直線ではなく、左右に振って火の根元にかけること
- ・消火器は下からほうきを掃くようにする。胸骨圧迫は絶え間なくやることが大切
- ・消火器で火を消すことは大事だが、一番は自分の命を守ることを学んだ
- ・人命救助をする上でのポイントを学べたこと
- ・自分の身長より高い火は逃げるということを初めて知った



DIG訓練

- ・酒匂川の周辺は地震などが起こると広い範囲で氾濫になるとわかり、日頃から災害に備えて対策するべきだとわかった
- ・地形を知り、どう行動すべきかを考えることはとても大切だと思った
- ・学校は安全であるということがわかった。一番危険なのは通学路だった、活断層の上を毎日通っていた
- ・海が比較的近い地域だからこそ、その中でもなるべく安全な場所を選んで逃げるということが重要だと学んだ。



AR訓練

- ・煙が高い位置にあるので、立つと本当に何も見えなくなってしまったから、しゃがんで避難しなくてはいけないという意味がわかった
- ・自分が想像していたよりも煙が下まで来ているし、煙で前が見えなかった。なので、想像よりも災害は大きいものだとことを学んだ
- ・水の流れを変えてみて、漂流物が迫ってくるところが、恐ろしく感じました



成果

- 県内の大学や県も施設等とも連携し、ARを活用した防災教育を推進することができた
- 近隣地域住民が参加することにより、地域の特性に沿った防災対策を講ずる一助になる

今後の展望

- 取組を周知することにより、県内の防災教育を推進
- 学校を中心となる教員の育成を図る